

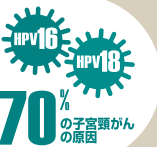
# 早期発見の向上に向けた取り組み

世界保健機関アフリカ地域事務局(WHO AFRO)  
子宮頸がん予防と制御に向けた取り組み

# アフリカにおける子宮頸がん



子宮頸部の細胞が異常で無制御な増殖を起こすと**子宮頸がん**になります。



ほぼ全ての子宮頸がんは2種類のヒト・パピローマウイルス(HPV)により引き起こされます。



アフリカにおける女性の**がんによる死因のトップ疾患は、子宮頸がん**です。

アフリカでは毎年**92,400名**の女性が子宮頸がんと診断されています。

**56,000名**の女性が亡くなっています。



## 子宮頸がんは、予防できます。

HPVワクチン接種と定期検診で**大半の子宮頸がんを予防**できます。

早期発見と有効な治療により子宮頸がんは通常、**治癒**します。

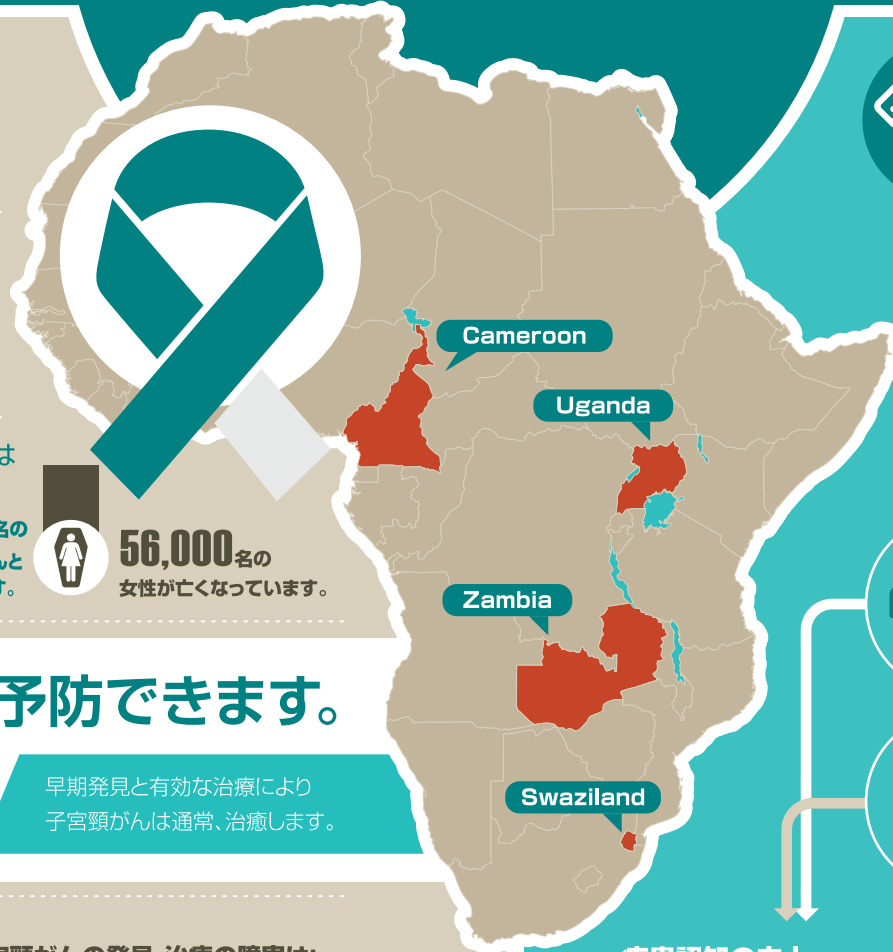
## 最大 95%

アフリカ諸国における**がん患者は**

**末期もしくは終末期状態で**がんを診断されます。

子宮頸がんの発見・治療の障害は:

- 子宮頸がん対策の欠如
- 一般市民と医療従事者における、子宮頸がんの疾患認識度低さ
- 子宮頸がんに関する最新・包括的データ不足



世界保健機関アフリカ地域事務局(WHO AFRO)と国際製薬団体連合会(IFPMA) **パートナーシップ**

子宮頸がん検診と早期症状で医師の診察を受けるように女性に働きかけます。すべての女性のニーズにこたえるために、子宮頸がんに関する適切な情報とスキルを医療関係者に提供します。

子宮頸がんの罹患率が高く、**予防と対策に改善が必要な4か国に注力**していきます。



### 教育支援

保健指導者や政府の保健担当者向けの子宮頸がん検診と早期発見の重要性に関する教育資料を提供します。



### カウンセリング資料

子宮頸がん検診と早期発見プログラムの流れを保健指導者が女性に説明するための資料を作成します。

### 疾患認知の向上

コミュニティーレベルでの子宮頸がん早期診断、検診、及び予防を推奨する一般向け教育資料を主な言語で作成していきます。

